



ブラジル&鳥取そして未来へ

ウルトラスポーツクラブは、鳥取県国際交流財団の山陰・夢みなど博覧会記念基金助成金をいただいて、平成28年3月24日から4月3日までの10日間、中学生40名・指導者3名・総勢43名が、ブラジルに行くことができました。

交流のきっかけ

2015年2月に、私が鳥取県の中堅リーダー交流事業に参加して、ブラジルに行き、鳥取県人会の本橋会長や会の方々にお世話になった時に、ブラジルへの移民の歴史を知り、鳥取県とブラジルの繋がりの深さを感じました。これをきっかけとして、中学生年代の子ども達がブラジルとの交流を深めていけば、さらなる成長ができるのではないかという思いから今回の交流を実施することにしました。

現地での活動

1つ目は、「サンパウロ鳥取友好の森」での植樹です。日本人移民による農業開拓等により伐採されて少なくなったマタ・アトランチカの代表樹の植樹を、子ども達が代表して行ってきました。この木の成長とともに子ども達も成長していってくれると信じています。



▲ 植樹の様子

2つ目は、鳥取県人会との交流です。県人会の方々がたくさん来てくださり、ブラジル料理や日本食で歓迎してくださいました。子ども達は県人会の方々の心のこもったおもてなしに感激していました。お礼に、子ども達からの出し物を観てもらいとても喜んでいただきました。



▲ 鳥取県人会との交流の様子



▲ サッカー交流の様子

3つ目は、ブラジルサッカーから多くのことを学んだことです。

サッカー交流では、「DIADEMA」「PORTUGUES」「OSASUCO」「PALMEIRAS」「CORINTHIANS」と交流し、世界のトップレベルのサッカーを体感しました。

「ブラジルの人達はプロになるために何点とっても本気で戦っていた。相手に合わせるなんて論外だなと思った。僕も練習のときから本気で高い意識をもってプレーしていこうと強く思った。今回のブラジルで学んだことを他の人にも伝えていき、チーム全体を強くしたい。(織田)」

さらに、子ども達は、ブラジルの文化と日本の文化の違いに気付きながら日本の良さを再発見しつつ、次第に現地に順応していきました。

「驚いたのは市場の凸凹な道にたくさん出店したり、マジックや演奏などのショーをしたりする人もいて、みんな自由だったことだ。日本の几帳面さに慣れてしまっていて、このような雑なのを見た時に、「うわぁきちんとしなくちゃ。」と思ったけど、それと同時に、日本のすばらしさを知ることができた。(藤井)」

「コミュニケーションをとるために身ぶり手振りをしたり、知っている英語の単語を言ったりしてもなかなか伝わりません。次第に、何とか少しずつポルトガル語を覚え、コミュニケーションを取りはじめました。(指導者 金坂)」

「サントス海岸では、誰からともなくブラジル人に声をかけ、言葉がわからない中、積極的にコミュニケーションを取っていました。一緒にボールを蹴る子ども達、一緒に写真を撮る子ども達、会話を楽しむ子ども達と、今までにないくらい積極的に自分達から行動していました。(指導者 吉川)」

このように、今までにない体験をすることで、子ども達は、次第に成長していきました。今後もこの交流を続けていくことで、子ども達には、世界基準のサッカー交流はもとより、鳥取県とブラジルとの交流をさらに深め、日本人としての誇りを持って、グローバルな視野で、世界と鳥取県を繋ぐ人間に成長していただきたいと思っています。

平成28年度鳥取県海外研修員、 県費留学生の紹介



鳥取県ブラジル
交流促進事業県費留学生

マリ、ニシムラさん 

ブラジル
サンパウロ州モジダススクレーゼス出身

私はサンパウロ州、モジダススクレーゼス市に住んでいます。日系三世で、母方の祖母が鳥取県出身です。今年、鳥取県で留学生になって、日本の伝統楽器と民謡の研究をします。私はブラジルの和太鼓のグループに参加しています。そこには4歳から16歳の生徒たちがいます。私たちは和太鼓だけではなく、三味線と民謡も練習をしています。そして、ブラジルの日本文化がなくなりたいように、私は一生懸命日本で勉強して、子供たちに伝え続けていきたいと思っています。

私の町にはたくさん日系人が住んでいて、日本といろいろな関係があるようです。毎年、秋祭りといふさと祭りを行っており、日本移民を称えて綺麗な公園を作っています。私は日系人としての大きな誇りを持っています。鳥取県に来て、その誇りがもっともっと大きくなりました。祖母のおかげで、この素敵な鳥取県で勉強させていただき、日本人の方々と一緒に過ごさせていただいて、本当に感謝しております。わたしにとってこの一年間は、きっと良い経験となり、素晴らしい思い出になることでしょう。



鳥取県、江原道
職員相互派遣研修生

キム ボム ジュ 
金 凡柱さん

韓国出身

私は韓国出身で江原道庁文化芸術課に所属しています。4月から鳥取県庁で1年間、観光分野・文化芸術分野について研修を受けます。鳥取県での現状や施策を調べて、有意義な点は帰国後に江原道でも取り入れていきたいと思っています。

江原道は、韓国の中でも最高の景色を楽しむことができます。鳥取県と同じように山があり、海もあります。春夏秋冬楽しめる所ですが、特に秋は雪岳山をはじめ、有名な山がたくさんあるので紅葉がとても美しいです。食べ物では、春川のタッカルビやマッコクスなどが有名です。面積が広い割には、人口が少なく、のんびりした雰囲気があります。

鳥取県に来県してみても、鳥取県は江原道と同じように、景色がとてもきれいです。親切な人が多く、住みやすいところだと感じています。県庁の近くにある久松山に登りましたが、さわやかな気分になりました。鳥取県にはおいしい地酒がたくさんあるようですが、お酒が飲めない私にはとても残念です。その代わりに、しゃんしゃん傘踊りなど伝統文化を習ってみたいと思います。



高校生国際協力体験プログラム参加者募集

～世界を知り、自分を見つめる1泊2日の異文化体験～

夏休みにJICA中国に泊まり、世界の問題に対して自分たちに何ができるか考えてみませんか。プログラムでは、世界の課題や現状に関する講義やワークショップ、青年海外協力隊へのインタビューなどを通して、国際協力について考えます。

日時：7月30日(土)～31日(日) 会場：JICA中国(東広島市)

対象：現役高校生(原則1グループにつき成人引率者1名、生徒4名まで)

費用：1,500円程度(2日分食費)、

復路交通費実費(5000円を超える場合は、超過分をJICAが負担)

*JICA負担 往路交通費・復路交通費のうち5000円を超える超過分・宿泊費・保険料(生徒のみ)

応募
締め切り!!



▲前回の様子

お問い合わせ 鳥取県JICAデスク(担当フムリ) TEL:0857-31-5951

ホームページ(JICA中国)もチェック!!
<http://www.jica.go.jp/chugoku/enterprise/kaihatsu/jittaikhen/index.html>

TPIEF Bulletin

Upcoming TPIEF Projects for Fiscal 2016



Japanese Classes

We have another round of Japanese courses to provide foreign nationals with the language skills needed for daily life in Japan! Check the detailed schedule and stop by your local TPIEF office to sign up.

【 East (Head Office) 】 Sundays 3 April-7 August 2016 (19 sessions)

【 Central (Kurayoshi) 】 ※Both Wednesday and Sunday classes offered.
Wednesdays 13 April-27 July 2016 (15 sessions)
Sundays 17 April-31 July 2016 (15 sessions)

【 West (Yonago) 】 Sundays 10 April-31 July 2016 (15 sessions)(no class 6/12, 7/10)

These events are also coming up!

○ International Festivals (3 regions within the prefecture)

【 West 】 9/25 (Sunday) Yonago International Exchange Festival At Yonago City Cultural Hall

【 Central 】 11/27 (Sunday) Kurayoshi International Exchange Festival At Houki Shiawase no Sato

【 West 】 12/4 (Sunday) TIME Festival # 28 At Torigin Bunka Kaikan

○ Multicultural Unity Network Meeting (Provisional Title)

○ Disaster Prevention Seminar for Locals and Internationals

Details on upcoming events and projects will be published on our web site and in our email magazine as soon as they are set. We hope you'll join us for our many of these in the near future.

Sign up for the email magazine here!

【English】<http://www.torisakyu.or.jp/?id=94>

【Chinese】<http://www.torisakyu.or.jp/?id=97>

【Tagalog】<http://www.torisakyu.or.jp/?id=107>

Greetings from the New Director General



Tottori Prefectural International Exchange Foundation
Seiichi Inada, Director General

I'm TPEIF's general office manager as of this year, and I'm pleased to meet you. I've worked at the prefectural government office for many years, but never before in international relations, and I can't speak any foreign languages—although I'm surrounded by English and Korean on a daily basis, I'll be working in Japanese.

As Japan becomes more globalized, there are quite a few foreign nationals in Tottori working hard to learn Japanese. For someone like me who can't speak anything else, it's an admirable effort.

This April we were visited by high school student from Vermont in the US, on an exchange project with Tottori's own students. I think such programs are a great chance for teens to learn other languages and cultures, and make friends in other nations, and are a boon to international society. I hope to do my part to fulfill the Foundation's agenda of bringing the people of Tottori together with those from other lands.



2016 Tottori Overseas Researchers and Scholarship Students



Tottori Prefecture Brazil promote exchange business Prefecture financed students

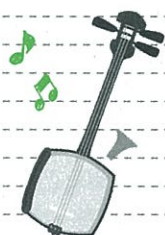
Mary Nishimura

Mogi das Cruzes, Sao Paolo, Brazil



I live in the city of Mogi das Cruzes in the state of Sao Paolo. I'm a third-generation Japanese Brazilian, with a grandmother from Tottori on my mother's side. I'm studying Japanese traditional and folk music as a visiting student in Tottori this year. I'm also part of a taiko group in Brazil, made up of students between the ages of 4 and 16. I practise shamisen and folk songs as well as taiko. To keep Japanese culture alive in Brazil, I'm going to study as much as I can here in Japan and pass it along to the children.

My town has many Japanese Brazilians, and many ties to Japan. Every year there is an autumn festival and a furusato festival, and a beautiful ark made to celebrate Japanese immigrants. I'm very proud of my heritage, and I've become even prouder since coming to Tottori. It's thanks to my grandmother that I've had this chance to study here and spend so much time with the Japanese people, and I'm very grateful. I'm sure this year is going to be a great experience, and a wonderful memory.



Tottori / Gangwon-do Reciprocal Staff Dispatch Project Trainee

Becmjm Kim

South Korea



I belong to the government office of culture and art in Korea's Gangwon-do. I'll be doing research in the fields of tourism and culture and art at the Tottori Prefectural Office from April. I'm hoping to take back something of interest to Gangwon-do as regards Tottori's conditions and policies.

Gangwon-do is home to some of the most excellent scenery in Korea. It has mountains similar to those in Tottori, and an ocean view. The landscape is beautiful throughout the year, with many famous mountains such as Seoraksan with lovely foliage in autumn. Among the famous foods are Chuncheon's dak galbi and makguksu. The area's low population for its expansive land area makes it a relaxing place to spend time.

I thought on arriving in Tottori that the scenery here is very nice, and similar to that in Gangwon-do. I feel there are many nice people, and living here is easy. I had a fine time climbing Mt Kyusho near the government office. Unfortunately, I'm not able to drink myself, but I've heard Tottori has many fine local sake varieties. On the other hand, I would like to try learning a local art like the umbrella dance in the Shan-Shan Matsuri.

TIPIEF信息

对于财政2016年即将到来的TIPIEF项目



日语学习班

为了让外国出身的朋友们可以学习在日本生活所需的日语,今年的日语学习班又开班了!请确认详细的课程表后向附近的财团事务所报名。

【东部(本所)】2016年4月3日~8月7日 每周日(共19次)

【中部(仓吉事务所)】※有周三班和周日班。

2016年4月13日~7月27日 每周三(共15次)

2016年4月17日~7月31日 每周日(共15次)

【西部(米子事务所)】2016年4月10日~7月31日 每周日(共15次) ※6/12、7/10休课

另外也有这些活动预定举办!(预定)

● 国际交流欢乐节(县内3个地区)

【西部】9/25(日)よなご国际交流欢乐节

会场:米子市文化ホール

【中部】11/27(日)くらし国际交流欢乐节

会场:伯耆しあわせの郷

【东部】12/4(日)第28回タイム欢乐节

会场:とりぎん文化会馆

● 多文化共生联络会

● 与外国人共同学习防灾讲座

尚未确定的活动日程待确定后随时在财团网页更新或以手机信息Torimo通知。除以上所介绍的这些活动以外,我们还将有其它各种活动计划,敬请期待。

请由此登录手机信息Torimo!

【英语】<http://www.torisakyu.or.jp/?id=94>

【中国语】<http://www.torisakyu.or.jp/?id=97>

【他加禄语】<http://www.torisakyu.or.jp/?id=107>



新上任局长的自我介绍

公益财团法人 鸟取县国际交流财团
事务局长 稻田 诚一



我是今年四月新上任的鸟取县国际交流财团的事务局长稻田。请多关照。

我长年在县厅工作,但是第一次做有关国际交流的工作,更何况我不会说外语呢!我只能在英文和韩文飞来飞去的工作环境下不断的用日语努力工作。

日本现在愈来愈国际化,而鸟取也有很多外国朋友在这里生活并努力学习日文。相对于不会外语的我来说,大家的努力实在非常另我尊敬。

4月的时候美国巴蒙特州的高中生来访之时,与县内的高中生有了交流,如此从初中高中就学习外语,了解外国文化,结交外国朋友等的经验都对今后的国际社会非常重要。我认为鸟取县国际交流财团的使命即是帮助鸟取县民与外国朋友之间的交流,所以希望今后大家可以活用财团让财团成为对大家有帮助的地方。

平成28年度鸟取县海外研修员、县费留学生的介绍



鸟取县巴西交流促进事业县非留学生

マリ ニシムラさん

巴西 圣保罗州摩基达斯克鲁斯市出身



我住在圣保罗州摩基达斯克鲁斯市。外婆是鸟取县出身的,而我是日系第三世。今年我将以留学生的身份在鸟取县研究日本传统乐器及民谣。在巴西我所参加的和太鼓团体中有从4岁到16岁的学生。不只是和太鼓,我们还练习三味线及民谣。另外,为了延续在巴西的日本文化,我将努力在日本学习,并传承给这些孩子们。

我所住的城镇住了很多的日系人,所以城镇本身有很多东西都和日本有关联。比如说我们每一年都会举行秋祭典和故乡祭典,甚至还为了赞颂日本移民而建造了一个美丽的公园。我以身为日系人为骄傲。来到鸟取之后,这种荣誉感更强烈了。

我非常的感谢因为托祖母的福,我才可以鸟取这个美好的地方学习并且和日本人一起生活。相信在这一年里,我一定可以有很多好的经验与回忆吧!



鸟取县、江原道派遣职员研修员

金凡柱 (キムボムジュ)さん

韩国出身



我出身韩国现在所属江原道厅文化艺术科。从四月开始到明年三月将在鸟取县厅接受有关观光·文化艺术方面的研修。希望我在鸟取县所调查到的现状及政策等有意义的地方都能在我回国后运用到江原道上。

江原道拥有在韩国里数一数二最棒的景色。和鸟取县一样有山也有海。是一个可享受春夏秋冬的好地方。特别是在秋天有很多有名的山,如雪岳山等都可以欣赏美丽的红叶。而食物方面则是以春川的辣炒鸡排及荞麦凉面等最有名。面积很广但人口很少,感觉很悠闲。

来到鸟取县之后我发现鸟取县和江原道一样景色非常优美。感觉亲切的人很多,是一个可以住得很舒适的城市。前不久我登在了县厅附近的久松山,感觉非常的舒畅。听说鸟取县有非常好喝的当地产的酒,这对于不会喝酒的我而言是非常可惜的。但是没关系,取而代之的打算好好的学习香香舞蹈等传统文化。

新コーナー

世界の衣装

～中南米編～

今年度は「民族衣装」というキーワードにスポットを当てて、世界各国を旅します。華麗な民族衣装をご覧ください。

◎ 女性用の民族衣装

「ウイピル」

中南米の衣装は、ほんとうにきれいなんです。

色鮮やかな刺繍のシャツに、下は巻きスカート。最後に濃い色の帯を巻けば完成です。スカートは筒状になっているので、履いて余った部分をくるくると巻いています。これだったら、太っても心配なくお洒落を楽しめますよ♪



おすすめ図書コーナー

米子事務所よりとっておきの財団の蔵書をご紹介します♪



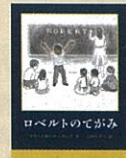
「世界でいちばん貧しい大統領のスピーチ」

地球の未来を考える国際会議でウルフアイ前大統領が世界に問いかけたことを子どもたちに届けます。



「メキシコ料理大全」

家庭料理、伝統料理の調理技術から食材、食文化まで。本場のレシピ100。鮮やかで美しい写真も満載!



「ロベルトのてがみ」

アメリカで暮らすスペイン語しか話せないメキシコ系移民の家族の葛藤と成長を描いた物語。

※図書の貸し出しは無料で行っています。 ※各事務所で蔵書は異なりますが、最寄りの事務所で取り寄せることができます。

世界の味をおうちで味わおう! ワールドレシピ



今回は米子市在住の息子さんのもてへ遊びに訪れたマリアさんによるレシピです。タコスにはメキシコで手軽に食べられる料理で有名です。



マリア ガルシアさん

今回の料理は **タコス**(メキシコ)

材料 (分量 5枚分)

トルティーヤ(タコスの皮)

- ・トウモロコシの粉(マサ) 100g
- ・サラダ油 大さじ1
- ・塩 小さじ1/2
- ・水 120ml

タコスの具材

お好きな物を挟んでください。マリアさんの息子アルベルトさんのおすすめはお肉、ピーマン、玉ネギ、ニンニクを一緒に炒めた物!



■作り方

- ① とうもろこしの粉(マサ)に塩、サラダ油を加えて混ぜる。
- ② 水を少しずつ加えながら混ぜ、ひとまとまりの生地になってきたら、よくこねる。
- ③ 手に生地が付かなくなり、耳たぶ位の柔らかさになったらOK。
- ④ 生地を5等分に分け、ピザの生地を作るように伸ばしていく。
- ⑤ 高温にしたフライパンで焼き、焼き目がつき、少し膨らんできたらトルティーヤの完成。
※生地は乾燥するとパリパリになってしまうので、焼けたらすぐに布やタオルなどに包み、蒸らしておく、しなやかに柔らかい生地ができます。
- ⑥ お好きな具材を挟んでお召し上がりください。

本所

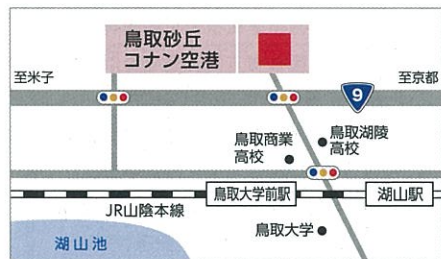
Head Office/ 総所

〒680-0947

鳥取市湖山町西4丁目110-5 鳥取空港国際会館1F
TEL.(0857)31-5951 FAX.(0857)31-5952
E-mail/tic@torisakyu.or.jp

■利用時間

平日 9:00~18:00 土・日 9:00~17:30
祝日・年末年始はお休みです



倉吉事務所

Kurayoshi Office/ 倉吉事務所

〒682-0802

倉吉市東巖城町2 鳥取県中部総合事務所別館
TEL.(0858)23-5931 FAX.(0858)23-5932
E-mail/tic@torisakyu.or.jp

■利用時間

平日 8:30~17:15 土・日・祝日・年末年始はお休みです
※臨時に閉所する場合は、HPで随時お知らせします。



米子事務所

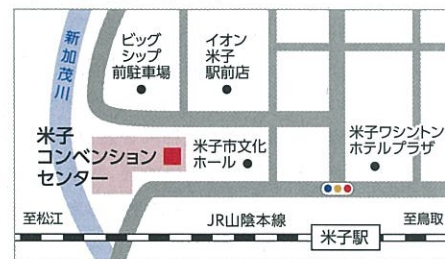
Yonago Office/ 米子事務所

〒683-0043

米子市末広町294 米子コンベンションセンター1F
TEL.(0859)34-5931 FAX.(0859)34-5955
E-mail/ticy@torisakyu.or.jp

■利用時間

平日 9:00~17:30 土・日 10:00~17:00
祝日・年末年始はお休みです



配信中!
登録無料!

- 国際交流イベント情報メールマガジン「☆TIM☆」(日本語) 鳥取発!
- 携帯版多言語メールマガジン
- 「TORIMO」(英語、中国語、タガログ語)

各種冊子
無料配布中!

- 防災ハンドブック
- 災害時携帯カード
- コミュニケーションサービスカード